

### 県立湘南高校創立100周年

「湘南高校の行事では、いかにやる気のない生徒にやる気を出させるか。モチベーションを上げるため、達成感のあるイベントをいくつかつくりたい」と考えた。そう話したのは、4年連続日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークス球団社長で、ソフトバンクグループ取締役専務執行役員CFO(最高財務責任者)の後藤芳光さん(58)。

体育祭の花形、仮装のチームリーダーとして1年から3年まで1200人も生徒をまとめた。「伝えたいことをしっかりと伝え共感してもらいたい。ゴールへ突き進む」。そうしてリーダーシップを湘南高校で訓練した、と振り返る。

「湘南高校の行事では、いかにやる気のない生徒にやる気を出させるか。モチベーションを上げるため、達成感のあるイベントをいくつかつくりたい」と考えた。そう話したのは、4年連続日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークス球団社長で、ソフトバンクグループ取締役専務執行役員CFO(最高財務責任者)の後藤芳光さん(58)。

体育祭の花形、仮装のチームリーダーとして1年から3年まで1200人も生徒をまとめた。「伝えたいことをしっかりと伝え共感してもらいたい。ゴールへ突き進む」。そうしてリーダーシップを湘南高校で訓練した、と振り返る。

法律事務所の代表弁護士、弁護士として初の上場企業経営者、現在は参議院議員、今月上旬までは管内閣の下で財務大臣政務官を務めるなど八面六臂の活躍を続ける元榮太一郎さん(45)。

そのバイタリティーの源は湘南高校サッカー部での鍛錬にあるという。

「3学年上の先輩方が全国大会に出場した後なので、熱血監督の下で情熱的な指導を受けた。夏の炎天下に毎日10km走り込みをするなど、後に経験した大学のサッカー部の方が楽しかったほど。おかげでタフネスを身に付けた」。ポジションは左サイドバック。「当時はオーバーラップ戦術の全盛期。フィールドをよく走った」と振り返る。

#### 球団社長

後藤 芳光さん



### リーダーシップ学ぶ

ホークスのスローガンは「めざせ世界一!」。グローバルに展開する同グループの球団らしく、メジャーリーグとガチンコ勝負するところまでレベルを高めていくため、常に「速く」を見ている。

孫正義会長兼社長の「懐刀」ともいわれるCFOとしてAI企業への投資などを財務面でサポート。「財務担当はともすると安定運転になりがちだが、それは成長は見込めない。安全性を維持しながら、積極的な経営を続ける。社長と一緒に走り続けていきたい」。

そのソフトバンクグループには、湘南高校との共通点があるという。「それはヒラルキーがないこと。湘南は運動部で活躍したから偉いのだ、帰宅部だからどうとかいうことがない。いろいろな価値観を持つ人が尊重し合っている。当社もそう。出身大学がどこか気にしないし、転職者が多い。僕もそうだ」。

高校時代に同級生だった、ゲーム会社マーベラスの加藤征一郎取締役執行役員CFO、金融庁の中島淳一長官とは、今でも仲のいい友人という。「後で振り返ると高校の3年間は本当に面白いやつがいっぱいいた。現役生にはそんな仲間といういろいろな経験ができる時間を大切にしたい」。

#### 弁護士・参院議員

元榮 太一郎さん



### 起業や政治挑戦続け

帰国。高2まで一人暮らしを続け、新聞配達やコンビニでのアルバイトで生活費をまかなった。「弁護士を目指して帰国。高2まで一人暮らしを続け、新聞配達やコンビニでのアルバイトで生活費をまかなった。「弁護士を目指して帰国。高2まで一人暮らしを続け、新聞配達やコンビニでのアルバイトで生活費をまかなった。」

「起業家という生き方も面白いのでは」と考え始める。「急速に発展するネット社会で、依頼者と弁護士がつながる場所を作れば、社会に役立つうえ、ビジネスとしても発展する」と、弁護士ドットコムを起業。8年連続赤字にも耐え、上場を果たすと、「より直接、社会をよりよく変革できる政治家に挑戦。参院千葉県選挙区で当選した」。

「来年の議員退任後は弁護士ドットコムや法律事務所に戻るが、世界を舞台に挑戦を続けたいと考えている。日本人が誇りを持てるような世界を牽引するグローバルな企業をつくりたい」。その歩みがとどまることはない。

#### 国際政治学者

三浦 瑠麗さん



### 人とその思い大切に

と休みがちに。「ただ黙って座りっぱなしで授業を聞くのは苦手。でも湘南では、課題をクリアすれば単位を落とすことはなく、名教師がいて、椅子に縛りつけるのではなく、もっと先を横断して体験してきたことが、かえって多角的なもの見方ができるチャンスだった」。

さらに「国際政治学で門下に入った師は説明するのが目標ではなく、理想を追いかけたいことが目的だということを感じてくれた。それは人間を中心とする世界観から来た私にはとても居心地がよかった」。

先輩たちには「考える力と想像力を育むことが大事。いかに人の立場にたつて、人の思いを理解し、くみとるかを大切にしたい」と呼び掛ける。「そして、自分の頭で考えてほしい。そのためにはまず知識を詰め込み、その中で人間を中心に置いておくという可能性が広がる」。

#### 産婦人科医

遠見 才希子さん



### 全国回り性教育講演

性暴力や意図しない妊娠などの問題がクローズアップされるようになり、性教育への関心が高まったこともある」。

高校時代は「憧れの湘南に入学したものの成績はビリで、劣等街道まっしぐら。部活もやめてしまい、居場所がなかった。そんな時、他校でチャリティイベントに励む友人に会った。「うらやましかった。その友人に『部がないならつくってみたい』といわれ、クラスで募集の掲示をしたら8人集まった。部員も数人に増え、お披露目の機会もつづられ、22年の歴史を重ねている」。

「高校生のころ、受診していやな思

創部75周年の県立湘南高校合唱部

成長支える人との出会い

コロナ禍で部活動のあり方も変化している。創部75周年を迎えた県立湘南高校合唱部もその一つ。動画作成といった新たな挑戦を始める一方、マスク越しでも質の高い表現力を身につけようと日々努力を続けている(取材日は7月14日)。

逆境ばねに磨く表現力

# H!P

エイチピー

H!P(エイチピー) 2021.09 No.049 秋号で掲載

県内の全ての県立・市立高校(定時制を含む)と、一部を除く私立高校で配布しています。

※保護者の方は学校または神奈川新聞社へお問い合わせください。

**H!P(エイチピー)は、高校生を応援するフリーマガジンです。神奈川県内の約20万人の高校生に、教室で無料配布しています。**

神奈川新聞 エイチピー 検索

お問い合わせ先  
神奈川新聞社クロスメディア営業局H!P編集部  
TEL.045-227-0782 (平日10:00~17:00)

QRコード

▲インスタはこちら!

▶H!Pはハイスクールポテンシャルの略。毎号、部活動や地域活動にポジティブに取り組む高校生を紹介しています。▶紙面制作にも現役の高校生記者が活躍中。記者は常時、募集しています。▶タブロイド判フルカラーで年4回発行。▶神奈川県の高校生だけが「載る、つくる、投稿する」で参加できるフリーマガジン、それがH!Pです。▶編集協力:県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、横須賀市教育委員会、県私立中学高等学校協会 ▶発行:神奈川新聞社 ▶H!P公式サイト:http://www.kanagawa-shimbun.jp/hip/